



19南建第13号  
平成19年4月23日

国土交通省道路局長 様

南島原市長 松島世佳



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について (回答)

国土交通省道路局におかれましては、日頃より道路事業に誠心誠意取り組まれていることに対し敬意を申し上げます。

私たちの南島原市は、長崎県の島原半島の東南部に位置し、平成18年3月末に近隣8ヶ町が合併して誕生した人口55,000人の市であります。主な産業は農業や水産業、そうめん産業が盛んであり、歴史的にはキリシタン文化にちなむ名所・旧跡が各地に点在しております。今般、本市に所在する三つの史跡が、「長崎の教会群とキリスト関連遺産」として、世界遺産登録の暫定リスト入りを果たしたところでもあります。

さて、今後の道路政策について一番強く要望したいのは、地域高規格道路の早急な整備であります。地域の暮らしを支える生活道路も大切ですが、将来に向けて本地域が生き残って行くためには、都市部とのアクセスが格段に向上する地域高規格道路の整備しれないと思っています。地理的に不利な本市では、高規格道路のI.Cまで1時間30分を要し、その恩恵を十分に受けることが出来ません。本市は、長崎県でも秀でた農水産物の生産地域でもあり又、数多くの歴史的資源を有しているながら、高速道路のネットワークが未整備のため、その資源を十分に利活用出来ない状況であります。地域高規格道路は未来への希望の道と位置付けています。

次に事業の効率化の問題ですが、事業の実施期間が余りにも長期に渡るため、住民に進捗状況が見えにくいという点があります。事業のスピードアップが図られ、毎年の実績が体感できるようになれば、住民の公共事業に対する認識も変わると思います。又、面的な事業の効率化と言う点で、本地域には計画路線としての島原道路があり、その一刻も早い全面開通が待たれている所ありますが、島原半島地域の振興を図るためには、長崎県、熊本県、鹿児島県の三地域を結ぶ九州西岸軸の形成が必要であり、候補路線である島原天草長島連絡道路の計画路線としての早急な指定をお願いするものであります。

以上申し述べましたように、本市を取り巻く地域高規格道路のネットワークの整備は今からでございます。本市にとりましては、将来の命運をかけた真に必要な道路でございますので、道路整備財源として道路特定財源を確保して頂き、早急な道路整備をお願い申し上げます。